



「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド (3カ月決算型)／(年2回決算型)」 本日より岡三証券にて取扱い開始

PRESS RELEASE

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 関崎 司)が運用する「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(3カ月決算型)」ならびに「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(年2回決算型)」(以下、「当ファンド」)が、本日より岡三証券株式会社にて取扱いを開始されましたのでお知らせいたします。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域におけるインフラ関連企業の株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行うファンドとして2015年9月11日に設定されました。

高い経済成長を続けるアジアでは、年間約100兆円ものインフラ投資需要があるといわれています。¹ 現在、国際機関や各国政府、企業が投資を行っていますが、膨大な需要を賄うには投資金額(供給)の更なる拡大が必要とされ、アジア開発銀行(ADB)の業務改革やアジアインフラ投資銀行(AIIB)の設立によりインフラ整備の加速が期待されています。

イーストスプリング・インベストメンツは、こうしたアジアにおけるインフラ投資機会の拡大に注目し、インフラ関連投資ファンドを積極的に提供しています。「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」(2006年設定)をはじめ、2015年には「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型／年2回決算型)」および「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型／年2回決算型)」、「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(3カ月決算型／年2回決算型)」を設定、現在合計7本の公募インフラ関連ファンドを運用しています。

当社グループは、150年以上におよぶアジア投資における長い歴史と豊富な経験を有し、アジアを中心に14のマーケットで資産運用事業を展開しています。特に、アジアのインフラ関連投資の分野では債券、上場株式に加え、プライベート・エクイティ／メザニンなど幅広い投資実績を有しています。

当社は、これからもアジア投資のエキスパートとして、アジアの成長をとらえた投資商品を日本の投資家の皆様に提供し、中長期的な資産形成に貢献してまいります。

以上

¹アジア開発銀行の資料、各種報道に基づき当社作成。

【イーストスプリング・インベストメンツについて】

イーストスプリング・インベストメンツは、世界有数の金融サービスグループを展開する英国プルデンシャル社(以下「最終親会社」)のアジアにおける資産運用事業部門です。イーストスプリング・インベストメンツは 2015 年 9 月末時点で約 824 億ポンド(約 14 兆円、1 ポンド=181.86 円)の運用資産を有するアジア最大級の資産運用会社であり、最終親会社は 165 年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアなど世界各国で金融サービス業務を提供しています。

イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、台湾、ベトナム、UAE、ルクセンブルグ、米国、英国で資産運用事業を展開し、さらに中国、インド、香港では合併事業を行っています。現在では 14 のマーケットで資産運用事業を展開しています。

【イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 会社概要】

- ◆ 設立: 1999 年 12 月
- ◆ 資本金: 6 億 4,950 万円
- ◆ 住所: 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 379 号
- ◆ 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ◆ ホームページ: <http://www.eastspring.co.jp/>
- ◆ 運用資産残高: 約 1 兆 1,907 億円(2015 年 12 月末時点)

なお、イーストスプリング・インベストメンツおよび最終親会社は、主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

【本プレスリリースに関して】

※当資料は、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。 ※当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。